米の産地品種銘柄の見直しに係る生産・実需等関係者の意見

生產者:酒田女鶴部会

実需者:木徳神糧株式会社

登録検査機関:有限責任中間法人 新潟県農産物検査協会

登録検査機関:有限会社 東北穀物検査協会

1 生産状況

| 名 | | 称 | 酒田女鶴部 | \$\$会(部会 | 会員:: | 生産者14名 |) | | |
|---|------|----|------------------|-----------|------|---------------------------------|-----------|-----------|------|
| 所 | 在 | 地 | 山形県酒田 | 田市藤塚字 | 元和里 | 5 3 - 1 | | | |
| 経 | 営 規 | 模 | 水田:4 | , 000a | ! | 畑作:1 , 5 | 0 0 a | | |
| 検 | 查受検数 | 立量 | (平成 1 st うるち米 | : 3,620 a | (品種: | 現在)) 品種名 はえぬき つ〈ばSD1号 | | 144,600 k | g) |
| | | | もち米 | : 380 a | (品種: | 酒田女鶴 | 15,960 kg | 5,460 k | (g) |
| | | | 醸造用米 | : 0 a | (品種: | | kg | k | g) |

2 検査の受検及び販売方法

| 少 量 品 種 を 生産する理由 | 改良品種「酒田女鶴」は、古来より山形県酒田市に伝わるもち米「女鶴」の特性を受け継ぎ、希に見る美味しいもち米として地域食文化の宝となっている。この美味しさを全国の消費者に届けて、特産品化を図り、地域農業の活性化に繋げたいため。 |
|---------------------|--|
| 検 査 の 受 検 方 法 | 登録検査機関 庄内みどり農業協同組合の検査員により受検。 |
| 販 売 方 法 | 酒田女鶴部会と庄内みどり農業協同組合が連携した直接販売及 び部会員による直接販売。 |
| | 庄内みどり農業協同組合と協力して、機能的な販売ライン(検査・貯蔵・注文・出荷)を確立し、安全安心で高品質な酒田女鶴の供給に努めている。 |

1 企業概要

| 名 | | 称 | 木徳神糧株式会社 |
|---|----|---|--|
| 所 | 在 | 地 | 東京都江戸川区西瑞江2-14-6 |
| 企 | 業概 | 要 | 事業内容:米穀事業、飼料事業、海外事業、コメ加工食品事業代表者:代表取締役社長 平山 惇資本金:5億2950万円年 商:平成19年12月期 774億円従業員数:平成19年12月現在 154名事業所:東北支店(仙台工場)関西支店(滋賀工場)、桶川工場(埼玉)、本牧工場(横浜)、新潟工場国内の別会社:木徳九州㈱(福岡工場)、備前食糧㈱(岡山工場) |

2 米穀の取扱状況

| 米 穀 の 年間取扱高 | 291,000トン | |
|---------------------|---------------------------------|---------------------|
| 米 穀 の 販 売 状 況 | 自社工場で製品にする割合 一般販売向け 業務用向け | 6.3割5.6割4.4割 |
| | 玄米販売 | 3 . 7割 |
| 産地品種銘柄 別 取 扱 状 況 | 産地品種銘柄仕入数 | 8 9 銘柄 |
| ┌未検査米、╮ | 自社工場製品のうち | |
| 非銘柄米 | 産地品種銘柄表示を行っている銘柄 | 数 43銘柄 |
| 合む 丿 | ←一般販売向け | 2 5 銘柄 🥎 |
| | 業務用向け | 2 5 銘柄 ^丿 |
| | 玄米販売の産地品種銘柄数 | 8 0 銘柄 |

1 登録検査機関の概要

| 名 称 | 有限責任中間法人 新潟県農産物検査協会 |
|------------------------|------------------------------------|
| 所 在 地 | 新潟県新潟市中央区東中通1番町86番地 |
| 農産物検査を 行う農産物の 種類 | もみ、玄米 小麦、大麦、はだか麦 大豆 そば |
| 種 類 別年間検査数量 | (平成19年産(12月末現在)) 水稲うるち玄米 358,270トン |

2 産地品種銘柄検査のための農産物検査員の技術修得の取組状況

| 種類別産地品 種銘柄の鑑定 用試料の確保 | 協会指導員により従たる事務所から検査時及び検査終了後に鑑 定用試料作成用に米を採取。 確保した米を用い鑑定用試料として作成。 |
|----------------------------|---|
| 検査員の鑑定 技術修得の 負担等状況 | 協会指導員により担当地区の検査員を指導。 地区別に研修会(米・大豆・麦・そば)を実施。 各JA等でも指導員を雇用し、検査員へ技術指導を実施。 図解・写真入りハンドブックを作成し検査員に配布活用。 鑑定競技会開催による技術錬磨。 格付審査会を実施。 各JA等の鑑定技術修得研修に対し、協会が支援。 |
| 検 査 員 の 検査対応状況 | 生産者毎に品種別契約数量を把握した検査の実施。 種類別・銘柄ごとの検査の実施。 複数検査員による検査の実施。 協会指導員による巡回指導の実施。 |

1 登録検査機関の概要

| | , |
|------------------------|--|
| 名 称 | 有限会社 東北穀物検査協会 |
| 所 在 地 | 宮城県登米市南方町原10番地の1 |
| 農産物検査を 行う農産物の 種類 | |
| 種 類 別年間検査数量 | (平成19年産(12月末現在))水稲うるち玄米 1,376トン(産地品種銘柄数 8銘柄、非銘柄検査数量 6トン) |
| | 水稲もち玄米 18トン (産地品種銘柄数 2銘柄、非銘柄検査数量 5トン) |
| | 醸造用玄米 0トン (産地品種銘柄数 0銘柄、非銘柄検査数量 0トン) |

2 産地品種銘柄検査のための農産物検査員の技術修得の取組状況

| 種類別産地品 種銘柄の鑑定 用試料の確保 | 銘柄の鑑定資料については、宮城県原種苗センターより確保している。 限界基準品は、当該登録検査機関自ら確保している。 |
|----------------------------------|---|
| 検査員の鑑定 技 術 修 得 の 負 担 等 状 況 | 地方農政局の研修会に参加し、鑑定技術の修得に努めている。 (6回/年) 登録検査機関の研修会を実施することにより、当該登録検査機 関の農産物検査員の鑑定技術の修得に努めている。(5回/年) |
| 検査員の検査 対 応 状 況 | 複数検査員による検査を実施している。 |